

中国－アフリカ関係の新しい発展段階

曾強*

2000年に「中国－アフリカ協力フォーラム」(FOCAC)が開催されるようになって以来、中国－アフリカ関係は新たな発展の時代を迎えた。両者とも、政治的平等、相互信頼、互恵的経済協力、文化交流、といった諸原則にもとづく新しいタイプの戦略的パートナーシップの進展のため努力を開始した。誠実さ、平等、互恵、連帯を通じてともに発展していくことは、中国－アフリカの交流と協力の重要なテーマとなり、それが中国－アフリカ関係の持続的な推進力になってきた。

第1節 新段階までの背景

中国－アフリカの友好は、長期にわたる交流の歴史に刻み込まれている。同じ歴史的経験を有する中国とアフリカは、民族解放と独立の闘争において互いに共鳴し助け合い、深い友好を築き上げてきた。それは過去50年間、あらゆる試練に耐えてきた。半世紀以上にわたり双方は、緊密な政治的結びつき、高官レベルの頻繁な相互訪問、人民レベルの接触を続けてきた。その結果、貿易と経済協力は急速に拡大し、他の分野における協力も良好な成果を生みだしてきた。また、国際問題に関する協議、調整も強化された。中国はアフリカ諸国に対して、能力の限りを尽くして援助を提供してきた。他方、アフリカ諸国もまた多くの機会を通じて中国に強力な支持を示してきた。かくして中国－アフリカ関係は、双方の配慮と努力によって成熟の域に達したと確言できる。

新世紀になると、新しい状況が中国とアフリカをさらに緊密化させた。アフリカでは「アフリカン・ルネッサンス」思想が大陸を席卷し、アフリカ諸国は平和と安定を達成し、経済発展を推進し、「ミレニアム開発目標」を実現するための努力を続けている。グローバリゼーションによるアフリカの周縁化傾向の強まりに直面して、アフリカ諸国は綿密な協議と調整ののち、経済発展に向けた集団的努力を払うための堅固な基盤確立を目指し、2002年にはOAUの後継であるAUを設置するとともに、発展のための大計画、「アフリカの発展のための新パートナーシップ」(NEPAD)を樹立した。

一方中国は、20年以上にわたる急速な経済成長を経て、台頭に向かう足場を固めた。台頭する勢力として中国はより重い国際的責任を担い、自国の平和的台頭に伴う国際戦略の策定が必要になった。最大の発展途上国である中国と最も多くの発展途上国を擁する大陸であるアフリカ、この共通の運命が中国とアフリカをより緊密化させ、西欧の先進諸国によって支配されてきた世界において、ともに発展するための努力を双方に促した。この新

*中国現代国際関係研究院アジア・アフリカ研究所、研究員。

しい状況に照らして、新世紀における中国－アフリカ関係の一層の発展を促進するために、新しい協力メカニズムの構築が強く求められている。

以上の背景に基づき、中国とアフリカ双方の努力をもって FOCAC が 2000 年に開催された。それは集团的対話、協議、調整の場として役立ち、中国－アフリカの友好のさらなる強化と一層の協力のための実際的で有効な動力を提供した。過去 7 年間を見ると、2000 年、2003 年、2006 年に 3 回の閣僚級会議、そして 2006 年には北京で国家首脳会議が、FOCAC の枠組みによって成功裡に開催され、中国－アフリカ協力がさらに進展した。FOCAC が提供するメカニズムをもって、中国－アフリカ協力はより高い段階に達し、より大きな成果を生み出してきた。この時期の主な特徴は次章で詳しく述べる。

第 2 節 新段階の中国－アフリカ関係の特徴

すでに見たように、FOCAC は新しい状況に対応して設置され、新世紀に中国とアフリカがともに発展するための、実際的かつ有効な土台として役立ってきた。FOCAC の導入をもって、中国－アフリカ関係は新しい発展段階に入った。

第 1 に、中国－アフリカ関係は、中国の対外戦略において重要な位置を占めるようになった。2006 年 1 月、中国は初の「アフリカ政策文書」(African Policy Paper) を公刊し、アフリカとの間で新しいタイプの戦略的パートナーシップを発展させる意図を世界に公表した。それは政治的平等、相互信頼、互惠的経済協力、文化交流を特徴とするものであった。この戦略的パートナーシップは、次の諸原則に基づく。すなわち誠実さ、友好と平等、互惠、相互の繁栄、相互の支援と緊密な調整、互いに学びあい、ともに発展を希求することなどである。2006 年 4 月、アフリカ 3 カ国訪問の際、胡錦涛国家主席はそうした戦略的パートナーシップのために 5 点の提案を行った。政治的相互信頼の強化、互惠的経済協力の拡張、文化的交流の拡大、安全保障問題での協力、国際問題に関する緊密な調整である。それらは、中国の「アフリカ政策文書」で示された諸原則に則ったものであった。

第 2 に、中国－アフリカ相互協力は、多様化し、より包括的になった。「アフリカ政策文書」はまた、相互協力の分野を詳細に示している。(1) 政治的分野では高官の訪問、立法府間の交流、政党間の交流、国際問題での協力、地方政府間の交流などである。(2) 経済的分野では貿易、投資、金融面での協力、農業協力、インフラ、資源の協力、観光事業の協力、債務の減免、経済的支援、多元的協力などである。(3) 教育、科学、文化、保健、社会の面では、人的資源の開発と教育における協力、科学・技術の協力、医学・保健の協力、メディアの協力、行政の協力、領事関係の協力、人民レベルの交流、環境に関する協力、災害軽減、救済と人道的支援などである。(4) 平和と安全の分野では軍事的協力、紛争解決と平和維持活動、司法・警察の協力、そして新たなタイプの安全保障協力などである。

第 3 に、過去 3 回の閣僚級会議と北京国家首脳会議では、多くの記録文書が残されたが、

さまざまなフォロー・アップ計画も策定されている。そこでは、中国－アフリカ協力の基礎固めに加え、各会議で設定された目標の実現が目指された。2006年の北京サミットで中国は、アフリカ諸国の発展を加速し、中国－アフリカ協力を推進するための8つの施策、そして対アフリカ関係を一層強化するための重要な提案を発表した。この8施策の内容は、対アフリカ支援を2009年までに2006年水準から倍増させること、30億ドルの融資と20億ドルのバイヤーズ・クレジットを優遇条件でアフリカに供与すること、50億ドル相当の中国－アフリカ開発基金を立ち上げること、アフリカの後発開発途上諸国と過重債務を抱えた貧困諸国の債務を帳消しにすること、アフリカの後発開発途上諸国が無関税措置を享受できる中国向け輸出品目を190品目から440品目に増加させて中国市場をより開放すること、アフリカに数カ所の貿易・経済協力地区を設置すること、それ以外にも社会経済分野で中国－アフリカ協力推進のための措置を講じることなどである。社会文化協力の分野で中国が約束したのは、1万5000人のアフリカ人専門家を養成すること、上級農業専門家100人を派遣すること、特別農業技術展示センターを10カ所に設置すること、対マラリア活動のために3億人民元を無償供与して30の病院を建設し、さらに30のマラリア予防・治療センターを建設すること、300人の青年ボランティアを派遣すること、農村に学校を100校建設すること、アフリカ人学生向け中国政府奨学金給付対象者数を現在の年間2000人から2009年までに4000人に増加させることなどである。かくして、FOCACにおける諸提案は、必ずや、中国とアフリカの間の互恵的協力関係拡大のための推進力となるであろう。

第4に、多くのアフリカの国々は、中国の経済発展の成功に学び、自国の発展を加速させるために中国との一層緊密な協力を期待する「ルック・イースト」政策を採用した。アフリカの支配的政党の高官が頻繁に中国を訪問し、国家運営を比較するとともに、カウンターパートの中国共産党と熱心に討議した。他方、中国共産党の高官レベルのアフリカ訪問も頻繁に行われ、統治に関わる経験を積極的に伝えあった。

最後に、中国－アフリカ関係の発展は加速化しつつあり、いくつかの満足すべき成果が達成されている。

(1) 2国間貿易は急速に成長してきた。2006年、中国とアフリカ諸国の貿易額は2000年の5倍以上の555億ドルに達した。中国は、2010年には、アフリカ諸国との2国間貿易額を1000億ドルの水準にすることを目指している。また、2000年以来中国の対アフリカ貿易黒字は大幅に減少し、2004年以降は赤字に転じたことに注目すべきであろう。このような現象は2000年以前にはほとんど見られなかった。

(2) 2006年末までに、中国の対アフリカ総投資額は1999年の数倍の117億ドルに到達した。現在、アフリカに対する投資は中国の全海外投資の9%を占めている。49カ国に分

散し、貿易、加工業、資源開発、輸送、農業などに対して行われている。

(3) 2006年、中国はアフリカで95億ドル相当の契約プロジェクトを完了した。それは住居建設、石油化学プロジェクト、電力、通信、輸送、治水などに関するものであった。

(4) 2003年の第2回FOCAC会議（於アジス・アベバ）で約束されたように、2004年から2006年までにさまざまな職種の人材1万人が中国によって養成された。そして2006年の北京サミットで中国はふたたび向こう3年間に1万5000人規模の人材養成を約束した。

(5) 2006年にはアルジェリア、ガボン、ルワンダ、マリ、モザンビーク、ナイジェリアを含む9カ国が新たに中国国民の観光目的地に加えられ、その数は総計26カ国となった。

(6) 中国はアフリカにおける平和維持に積極的に参加してきた。現在、中国はアフリカにおいて7つの平和維持活動に携わり、1273名の平和維持部隊が貢献している。平和維持部隊に加えて、中国はまた財政的、物財的にもアフリカでの平和維持活動に貢献している。

(7) 中国は2000年以来、約30のアフリカ諸国がもつ109億人民元の債務を帳消しにした。そして2009年までに最貧の重債務諸国がもつ100億人民元以上を帳消しにすることを約束した。

(8) 最近、中国はアフリカ問題中国特使として、古参の外交官でありアフリカに精通したLiu Guijin大使を任命した。これはアフリカに対する中国のより積極的なかわりを意味している。

第3節 将来の挑戦

FOCACの導入以来、中国とアフリカは一連の新たな挑戦に遭遇した。これらの挑戦は、北京大学の李安山（Li Anshan）教授が正しく指摘しているように、以下の諸点である。つまり、(1) 中国（中国企業）の利害 vs. アフリカ（アフリカ企業）の利害、(2) 中国の国益 vs. 中国企業の利害、(3) 中国の利害 vs. 大国の既得権益、(4) 中国の天然資源需要 vs. 持続的発展に向けてのアフリカの期待、(5) 中国とアフリカの短期的利害 vs. それらの長期的利害、といったものである。

現在、中国－アフリカ関係の一層の発展に向けたこれらの挑戦にどのように対応するかという問題は中国政府にとって深い関心事であり、中国の学者たち、とくに中国において政策研究や政策分析に携わっている学者たちにとっても主要な研究テーマである。

しかし、これらの挑戦は決して中国－アフリカ関係の一層の発展に対する障害ではない。

逆にそれらの解決は、中国－アフリカ関係をさらに前進させ、中国とアフリカの戦略的パートナーシップの基礎を固めることができるであろう。

参考文献

1. 中国政府発行「アフリカ政策文書」2006年1月16日
2. CICIR『戦略と安全評論』2004年－2005年、時事問題出版社。
3. CICIR『戦略と安全評論』2005年－2006年、時事問題出版社。
4. [www.fmprc.gov.cn /chn/](http://www.fmprc.gov.cn/chn/)
5. www.mofocm.gov.cn/
6. www.xinhuanet.com/
7. [www.people.com.cn./](http://www.people.com.cn/)
8. Joshua Eisenman , *China ' Post-Cold War Strategy in Africa: Examining Beijing's Mehtods and Objectives.*